



と思っているんですよ。ふれあいの森もありますし。白旗山を拠点として何かまちづくりができないかと区民の皆さんと考えているところなんです。西選手はほかに「このようなまちになってほしい」と思うようなことはありません。

### 安心安全な まちづくり

**西** 安全なまちというのを考えてもらいたいです。子どものころは友達と自転車であちこちに行きましたが、最近はいろいろな事故や事件も起きていますし。

**区長** 北海道はことし交通事故死がとも多いんです。子どもが犠牲になる事故が特に多いですね。子どもを狙った犯罪も増えているので、地域が一体となって子ども

を守ろうという動きが活発になっています。でもそれだけではなく、子どもたちが安心して遊べる場所を確保してあげなければいけないですよ。清田区は子どもが多いまちですからなおさらです。

**西** 最近の子どもたちはあまり外で遊ばなくなっていますよね。周りが遊べる環境をつくってあげることが大切じゃないでしょうか。

僕は、近所に一緒に遊ぶ友達がたくさんいて、両親も自由にのびのびと遊ばせてくれたんです。それに近所の家同士のつながりも大切ですし。そういう点で、清田に住んでいたころはすごく恵まれた環境にいたと思っています。

**区長** きっとそのような地域の中でのつながりや環境が、西選手のようなプロサッカー選手を育てたのだしょうね。人と人とのつながりが、やはり一番の財産ですね。

### スポーツを通じた まちづくり

**西** スポーツをすることで得られるものは本当にたくさんあるんです。あいさつなどの礼儀もしっかり身に付けることができました。いろいろな人との出会いがあって、その中で人との付き合い方も学びました。

**区長** まちづくりの中でも、人との交流の場をつくるのが大切です。スポーツを通して、人との

つながりが生まれる。これがスポーツの素晴らしさですね。ぜひまちづくりにも生かしていきたいと思えます。では最後に、区民の皆さんへのメッセージをお願いします。

**西** これからも清田の緑を守りながら、子どもが安心して住めるまちをみんなで作っていかれたら良いと思います。そして子どもたちには、外でみんなで遊ぶ楽しさを知ってほしいです。それを通していろいろなことを学べるし、その中で夢を見つけることができるかもしれません。僕も毎日毎日を大切に成長し続けて、チームの中心選手になれるように頑張ります。

**区長** これからも、子どもたちに夢を与え続けてくださいね。応援しています。本日は本当にありがとうございました。



### 中野区長の

## 対談後記

対談中、子どものころの思い出を懐かしそうに語る表情が印象的でした。清田区の中心を流れる厚別川を「あしりべつ」川と呼ぶ西選手、さすが清田区出身です。緑を守る、人とのふれあい、そして安全なまち。西選手のお話はまさに清田区が掲げる将来像と重なり、本当にうれしく思いました。今回の対談で、西選手を身近に感じていただけただけではないでしょうか。今年成人になったばかりの西選手。今後ブラジル留学での修業を生かし、コンサドーレをもっと強くしてほしいですね。成人式の日には、ぜひ会場でお会いしたいです。

## プレゼント



西選手の直筆サイン色紙を抽選で3人の方にプレゼントします。ご希望の方は、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号と、西選手への応援メッセージ、広報さっぽろ清田区版へのご意見・ご感想などを記入して、11月30日(金)までにはがき、ファクス、またはEメールでご応募ください。

清田区総務企画課広聴係 〒004-8613 平岡1条1丁目  
☎ 889-2400 (内線229) FAX: 889-2402  
Eメール: kiyota.somu@city.sapporo.jp

※白旗山フェスティバルは10月8日に開催しました  
(本誌「区民のページ」7ページ参照)。